

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 亀田山分教会

大正3年10月31日 設立  
昭和35年2月26日 神殿及附属建物増築  
昭和56年6月26日 神殿及附属建物増改築

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。  
つなげよう、信仰の喜びを。

活動  
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



立教187年  
8月号

英語講習会開催

海外部

海外部は、8月8日に参加者27人のもと、英語講習会を開催しました。昨年に引き続きオーストラリアからMAX(マックス)こと足立直直さん(河原町部属)がゲストとして来られ、MAXさんと一生懸命に英語で話をする参加者の姿がみられました。

まずは大教会で、英語のフレーズ練習などを行い、その後、倉敷美観地区に向けて出発。到着後、美味しい手作りロコモコ弁当をいただき、元気いっぱい美観地区散策をスタート。グループ毎に謎解き英語クイズを解きながらゴールを目指します。また外国人観光客に英語で「好きな日本食は何ですか？」とインタビューを行い、返ってきた答えで列を揃えるビンゴゲームも行いました。ゴール地点では、ソフトクリーム券が配られ、好きな味を英語で注文しました。晴天に恵まれ、暑い中ではありましたが、参加者達



“好きな日本食はなんですか？”

は積極的に謎解きクイズやインタビューを行い、英語に触れながら、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

(海外部員 鳥井悠加)

英語講習会に参加して

鶴山分教会 中島 遼・中2

今年の夏、僕は友達と2人で英語講習会に参加しました。大教会に集まり開講式を行い、そしてバスに乗り目的地の倉敷に着いてまず昼食をとり、そしていよいよ海外部の方が考えてくれた謎ときと海外から来ている観光客にインタビューをしました。

インタビューは、何十人かの方に聞いてまわりましたが快くインタビュー

を受けてくださり、優しい人が多いんだなあと思いました。

僕は海外に住んでみたいなどという夢があつて英語を勉強中です。まずインタビューをする時にはめちゃくちゃ緊張しましたが観光客はこっちが頑張つて伝えようとしたら大体真剣に理解しようとして聞いてくれました。なので気持ちになりました。僕はこの英語講習会を受けて英語に自信がつかました。日本ではみんなが英語をしゃべるわけではないし日本全体で英語をしゃべれるようになることはないけど少しでも英語に興味がある方はぜひ英語講習会に参加してみてください。ぼくは、来年も参加したいなと思います。

こうして

世界が広がっていく

新山邑分教会 三島 美保子

話せる英単語が昨年から一つも増えていないまま参加しましたが、同じグループの積極的なメンバーたちの姿につられて、話せないのにたくさん声をかけていきました。

『お気に入りの日本食』のお題でのビンゴゲームに気を取られすぎて、名



勇気を出してインタビュー

も名乗らず、不躰に「お気に入りの日本食は？」と尋ねるわたしたちに外国人観光客の方たちは笑顔で気さくに答えてくださるし。海外に滞在経験のあるメンバーさんたちが海外の方と話せるようになるの目標になります。

ほぼスペイン語しか話せない女性に会ったときに、「こんにちは」とか「どうぞよい旅を」ぐらいは話せたらいいなあと感じたので、帰つてすぐにスペイン語の挨拶を調べ、発音の練習を試みたらとても楽しくて。こうしたきっかけで学びたいことや世界が広



謎解きしながらたどり着いたデニムストリート

がつていくんだらうなあと感じたとしても気持ちのいい一日でした。解き甲斐のあるクイズ、観光もできると楽しい時間を用意してくださったスタッフの皆様ありがとうございます。

## 末の弟のまなざし 5

▼雅志兄は次男である。

笠岡大教会史に次の一文がある。  
3代会長の就任 日浅い大正10年8月、くにゑ3代会長夫人の身上がにわ

かに悪くなり、大熱にくるしむところとなった。この月6日、たまたま青年会本部から村田勇吉先生の巡教があり村田先生から「信仰の生命は親孝行にあり」との講話があった。またこの時当時3歳の3代会長次男・雅志が、幾度となくタヲルを冷やして会長夫人の額にあてた。

村田先生の講話、子供の姿などから、3代会長は理の上の思案を進め、初代会長がゆつくりと休める居間の建築を早急に進めることが必要ではないかと判断した。

これは既に大正8年の会議において、教祖殿の建築とともに定まっていたものなのであるが、教祖殿を建築しない以上、順序の上から見あわせていたのであったが、ここにおいて3代会長はひとまず初代会長の建築を考えたのであった。ただちに役員会議が開かれ、何等の異論もなく建築をする事に決定した。

ところが、大正10年10月25日、雅志がにわか発熱し、医師の診断で脊髄炎と判明、このままでは到底元の体にもどらないとの事であった。

3代会長は、雅志の身上お手入れから、井筒たね大教会長様、宮田佐蔵先

生(3代会長実兄)におさとしを願った。その大要は、「初代会長の居間の建築も結構であるが、それより第一に教えの親、教祖のお鎮まり下さる建物を建つべきではないか」との事であった。ここにおいて3代会長は再び役員会議を開いて心の練り直しをした。

この間の事情願書をひもとくと、

大正11年3月20日 教祖殿、初代会

長室建築決定

大正11年10月24日 笠岡分教会教祖

殿建築

大正13年4月18日 笠岡分教会教祖

殿落成奉告祭執行(1600人)

そして大正12年4月29日上原雅志は

6歳で出直した。

史料庫に上原雅志の10年祭詞、50年祭詞がある。50年祭詞は口語調で書かれているので、掲載してみる。

此の笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます上原雅志真名子の霊の前に 慎んで申し上げます 雅志の君は遠く大正七年八月三十一日笠岡大教会長上原繁雄・くにゑの二男として誕生され 生まれつき人に勝れて

さとくかしこく両親の掌中の珠と育み育てられ行く先を楽しみてすくすく

と生い立してありましたが 教祖殿ふしん完成の途上 大正十二年四月二十九日齡六歳で御出直しになりました事は返す返すも口惜しく心に残るものがありました

思えば教祖四十年祭を迎える旬の中に二代会長のお出直し 三代会長就任 会長夫人の身上 おぢばより村田先生の巡教 二代会長の思いありし第一期建築教祖殿のふしんと数々の事情の中での出直しでございました

今もまぶたに残るものは 三代会長夫人母君の身上中三歳の君が 高熱に苦しんでおられた母の枕辺に寄り添う如く、タヲルを冷やして幾回となく取り替えつつ 親思う幼心に親の身を案じておられた姿 幼い紅葉の手で おさづけ取り次ぐ手まねのいたいけな姿 など見舞いの訪れる人々には忘れ得ぬ一コマでございます

齡六歳幼な子でございましたが 旬の中に雄々しき道の礎とおなり下さいました姿は、いつになりても消える時とてありません

ここを以て花に紅葉に御姿を偲び二十年三十年の時折 霊の御祭厳かに御仕え申して参りましたが 月日の小車はやまず 廻り廻りて 今年早くも

五十年の御祭を営む年となりました。て伏し拝む状を御受け取り下さいまし 慎んで御願ひ申し上げます  
 で忘れ得ぬ面影心に浮かべ在せし日 て今もこれからも上原家の行く末長 以上である。小生も 史料庫のかび  
 の事共語り合いつつ霊をお慰め申し上 く御見守り下さり 笠岡大教会の弥業 臭い年祭詞を読んで心なしか涙ぐんで  
 げたいと心づくしの種々のものを供え を御導き下さいますよう 一同と共に しまつた。

## 七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様には「いちれつのごともがかへいそれゆへにいろく心つくしきるなり」と一列子どもが可愛いとの親心から 日夜変わらぬ御守護とお導きのまにまに 結構に恙なくお連れ通り頂いております事は 誠に有難く勿体ない極みでございます 私共はこの夏の暑さも汗の流れも 変わらぬ御守護の賜物と 朝夕に御礼申し上げ たすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は七月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には 今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ 尚も変わらぬ親心にお継りする皆の誠真実の状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますよう御願ひ申し上げます

さていよいよ「ごともおぢばがえり」が目前に迫ってまいりました 一人でも多くの子どもたちに 親の息をかけてもらい 笑顔になつてもらおうべく

募集の上に努め励ませて頂いております 何卒期間中は無事無難にお連れ通り下さいますようお願い申し上げます また来月には英語講習会 学生生徒修養会高校の部 サマーキャンプと夏の行事が続きます これらの行事を通して 信仰の喜びをつなげていく所存でございます

何卒親神様には 旬に込められた思いを真摯に受け止めたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受取り下さいまして 万たすけの上に自由の御守護を賜り お望み下さる陽気づくめの世の状に 一日も早くお導き下さいますよう 一同と共に慎んで御願ひ申し上げます

## 詰所からのお願い

### 詰所での宿泊・喫食について

- 詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、2日前までには、必ず詰所へご連絡ください。
- 食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願ひます。

立教百八十七年 七月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ			てをどり			地方	役割 区分	講話	祭主		祭主
									前	中	大	前	中	大				横山	上原	
今川佐智子	上原順子	佐藤香苗	内海史郎	吉岡壽	上原志郎	中村剛	田林久嗣	浅野明教	田中ますみ	前奥様	大教会奥様	上原繁道	前会長様	大教会長様	中村義太郎	山野弘実	佐藤道孝	横山逸郎	上原浩	大教会長様
上原千枝子	三島照美	内海安子	岡田誠	山野弘実	中島誠治	岡崎治喜	高木昭祥	岡崎真一	吉岡八恵	横山小智榮	武内正美	横山逸郎	吉岡誠一郎	谷内伸自	三代温生	虫立生	田中隆之	指図方	賛者	赤木素志
田中つかさ	山野なつ	岡崎豊子	谷内秀自	内海史郎	杉原善朗	田林久嗣	赤木素志	佐藤真孝	室悦子	中村初美	門脇加津	森本忠善	上原浩	門脇元教	上原繁次	中村道徳	上原志郎	上原志郎	杉原善朗	赤木素志
																九月講話	布教推進講話			



◎本部月次祭 登殿参列

大教会だより

立教187年3月26日登殿  
 高屋武内正美  
 福昭平盛秀年  
 福富士藤井正仁  
 東福山枝廣隆文

|| 辞令 ||

立教187年6月21日付  
 福節 藤井治喜  
 八尋 矢田哲一  
 芦品 吉岡孝彦  
 惠陽 藤本惠子  
 稻倉 北川史  
 稻瀬 三宅道大  
 稻讚 北川壯一

◎登用

承事 浅野明教

◎職制人事

管理部部員 田瀬大喜

◎本部月次祭 登殿参列

立教187年6月26日登殿  
 久松中村剛史  
 坪生掛谷宣和  
 安那吉岡輝昭  
 芦田川吉岡彦  
 三郡 貞清 貞彦  
 東水島 藤本芳久  
 龜田山 高橋徳行  
 出雲川津 仙田勉

◎第九五期修養科一期講師

自 立教187年5月1日  
至 立教187年7月27日  
金浦 今川 昌彦

品治 渡邊 泰造  
葦沼 三島 順教



神村 下田 誠輝  
大江橋 村川 久美子

◎こどもおぢばがえり

詰所受入ひのきしん

☆前期

自 立教187年7月26日  
至 立教187年7月29日

- 福山ブロック 福山 真実
- 廣町 宮本 やわら
- 高屋ブロック 稲倉 大月 道昭
- 島根ブロック 照雲 雑賀 元生
- 東ブロック 鶴山 中島 育子
- 西ブロック 品治 渡邊 泰造
- 上府ブロック 木津和 丸山 隼人

☆中期

自 立教187年7月29日  
至 立教187年8月1日

- 福山ブロック 福富士 藤井 成人
- 高屋ブロック 大恵山 瀬藤 俊希
- 島根ブロック 照雲 雑賀 元生
- 東ブロック

吸江 西村 健  
西ブロック 吉岡 隆男

☆後期

自 立教187年8月1日  
至 立教187年8月4日

- 福山ブロック 福芦 青山 和未
- 高屋ブロック 芦品 青木 茂男
- 島根ブロック 新輝豊 杉本 悦子
- 東ブロック 興明 吉岡 八恵
- 西ブロック 神村 下田 真紀
- 上府ブロック 上吉野 松井 小夜



「言つとることと、しとることが違う」

とつたら、人はついてきやーへんで。  
「言行一致じゃあ」

酔が回ってくる人差指の先で、コンコンとテーブルを叩きながら力説するのが彼の癖だった。

彼の家までは私の家から徒歩で約2分程。保育園、小学校、中学校までは登校時はほとんど一緒だった同級生。その後は、離れ離れになった。

ある時、知り合いのタクシーの運転手さんから彼のことを聞き、連絡を取り合うようになった。お互い都合をつけてよくお酒を飲んだ。職業は全く違う二人だったが、話題に事欠くことはなかった。

彼は仕事柄、移動が多くだんだんと会う機会も少なくなった。

私の住む地域を管轄する警察署の副署長をつとめ、四十数年間の警察人生をおえた。

7月21日、彼の一回忌であり祥月命日だった。部屋に掛けてあった遺影が、冒頭の言葉を話しかけているように感じた。

年祭活動2年目も早や後半。教会をお預かりする童頭として、間違わないよう、正しく時を刻んでいかねば、と思う日日です。(あ)